

■ VI～VII群の評価

◎良い4点 ○まあ良い3点 △努力2点 ×1点関連がない・不十分

群	下位項目	評価内容と基準	平均	コメント	方向性
VI 入学	入学者の選抜の考え方と教育理念、教育目的との一貫性	51 教育理念・教育目的との一貫性から入学選抜についての考え方を述べているか	3.6	<p>・本校が求める学生像(アドミッションポリシー)を表し(教育計画・募集要項)、入学選抜についての考え方を明示している。</p> <p>・入学選考委員会の中で入学状況、入学者の推移、入学選抜方法の妥当性及び教育効果については検討し、昨年度より入試時期や方法を変更した。対象となった1年生に長期欠席者や休学者はいない。メンタル面でバランスのとれない学生もいるが、対処行動をとりながら学業の継続はできている。</p>	入学者状況、入学者の推移、入学選抜方法の妥当性及び教育効果についての分析・検証の継続と周知。
	選抜の公平性・選抜方法の妥当性・入学希望者開拓への取り組み	52 入学者状況、入学者の推移について、入学選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証しているか	3.4		
VI群平均			3.5		
VII 卒業・就職・進学	進路選択状況と教育理念、教育目的との整合性	53 卒業生の到達状況、就職・進学状況を分析した結果は、教育理念・教育目標と整合性があるか	3.5	<p>・評価項目53の卒業時の到達状況は毎年評価し、市立の学校として地域の病院に就職する学生を一定数維持している。</p> <p>・評価項目54・55の就職先での評価の把握、情報交換という点では実施できているが、数年、調査までには至っていない。新カリキュラム1回生の卒業生を対象に調査し、教育理念・教育目標との整合性や授業展開の良否を評価していく。</p> <p>・評価項目56の卒業時の到達状況については、看護実践能力・年次目標による評価・模試結果・卒業認定会議、国家試験の結果等で実施している。</p>	新カリキュラム一回生の卒業後1年の調査。
		54 卒業生の就職先での評価を把握し、問題を明確にし、教育を改善するために、就職先との情報交換や調査の実施などができる体制が整っているか	2.7		
	55 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理し、教育理念、教育目標、授業の展開に活用しているか	3.2			
	56 卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、それを計画的に行っているか	3.4			
VII群平均			3.2		
VIII 地域社会 国際交流	地域社会への貢献	57 社会との連携において、地域のニーズを把握し、看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的にしているか	3.5	<p>評価項目57・59については、地域とのつながりや健康面への貢献を意識した教育内容を考え授業・教科外活動は概ね行えている。</p> <p>評価項目58については、把握・発信の手段は持っているが、系統立てた状態までには至っていない。</p> <p>地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れているか</p> <p>国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか</p> <p>国際的視野を広げるための自己学習システムが整っているか</p> <p>海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制があるか</p> <p>留学や海外に置いて看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制があるか</p>	<p>国際的視野に関する授業の実施状況の把握と評価。</p> <p>学校としてのニーズの明確化と教育内容の検討。</p>
		58 養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段、養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか	3.2		
	地域社会における資源の活用	59	3.7		
	国際交流のための体制	60	2.8		
		61	2.3		
		62	2.0		
		63	1.8		
VIII群平均			2.8		